

## ～令和3年5月 データから見た業界の動き～

### 5月報告のポイント

#### 2ヶ月連続で売上高D.I値がプラスを示す 一部製造業の回復傾向は顕著 地場産業・サービス業の低迷つづく

##### ■ 概 況

5月の県内景況のD.I値は、全体で売上高+6ポイント（前年同月比+70）、収益状況▲8ポイント（前年同月比+52）、景況感▲12ポイント（前年同月比+46）となった。前年同月のD.I値は、売上高▲64ポイント、収益▲60ポイントと、過去10年間で最も低い数値を示していたこともあり、数値的には大きく回復の傾向を示した。

製造業は、売上高±0（前年同月比+85）、収益状況▲15（前年同月比+60）、景況感▲25（前年同月比+50）となった。水産物加工業では、昨年度は操業自体が停止したことが影響して前年度対比300%の回復、菓子製造業では連休期間を中心に人の動きがあったことから土産品の需要が回復し取引が増加、収益も改善しているとの報告がされた。

顕著な回復を示しているのは半導体装置製造関連で、部品や機械装置の製造に関わる業界ではアメリカの本格的な経済復興により受注が好調とされている。

一方、ワインや織物など地場産業製品製造の先行きは不透明、大都市圏の緊急事態宣言の発令により、消費は大きく落ち込んでおり回復の目途はたっていない。

非製造業では、売上高+10（前年同月比+60）、収益状況▲3（前年同月比+47）、景況感▲3（前年同月比+44）となり、2ヶ月連続で売上高D.I値がプラスを示した。自動車や大型家電など耐久消費財の動きが良く、関連する業界では景気の回復感を感じているとの報告がされている。一方、食料品小売り（野菜）では悪天候により出荷量が少なく価格が高騰、食肉や水産物でも流通量は平年より少ないとのこと。

宿泊業や商店街にも人出は戻っておらず、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、来県・来街者の増加に期待している状況。

木材・鋼材の不足や工事資材の価格高騰の影響が各種建設業界からは聞こえてくる。

電気工事からは資材の不足で着工遅れが発生、型枠の業界でも資材高騰による収益の悪化が報告された。鋼材価格が短期間に大幅上昇、鉄構業界では価格転嫁ができず苦しいとの報告がされた。

新型コロナウイルスとの戦いが長期化する中で、事業者は経営改善や新たな事業活動に取り組み最悪の事態から脱しようと必死な状況。今後は事業直接費の支援から継続した活動の支援へと国からのバックアップが望まれる。中央会では先んじて事業継続に必要な専門家派遣の枠を確保し支援を行うこととしている。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製造業

|                    |   |
|--------------------|---|
| 食料品<br>(水産物加工業)    | 売り上げは緊急事態宣言で活動が全面的に停止した前年同月に比べ292%と大幅に増加しているが、一昨年と比べると売り上げは半分程度に留まっており未だ回復には程遠い。                            |
| 食料品<br>(洋菓子製造業)    | 菓子・冷菓ともに好調で、売り上げは前年同月比121%となった。   |
| 食料品<br>(パン・菓子製造業)  | 需要が戻りつつあり、適正価格での取り引きが増えたことから収益状況の改善に繋がった。   |
| 食料品<br>(酒類製造業)     | 大量消費地である東京都での緊急事態宣言の発令により、飲食店での飲酒が制限されたことで売り上げ減少の影響が大きく、先行きに不安を抱えている。                                       |
| 繊維・同製品<br>(織物)     | 東京都での緊急事態宣言の発令により百貨店の閉館措置が取られていることから、売り上げが回復せず生産が減少している。一方、ECサイトを活用し売り上げに繋げている組合員もいる。                       |
| 木材・木製品製造           | ウッドショックによる材料の高騰、材料不足が顕著。輸入材が手に入らず内地材(国産材)へ移る傾向であるが、既に供給が間に合わない地域が出ている。                                      |
| 家具製造               | 緊急事態宣言の発令とウッドショックにより住宅着工工事の遅れが影響し、売り上げが前年同月比▲13%となった。   |
| 窯業・土石<br>(山砕石)     | 例年5月は工事量が少ないが、前年度内に完成予定だった工事が遅延したことで売り上げは前年比で+3%増加した。ただし、一昨年との比較では売り上げは減少、前月比でも売り上げは減少し、景況感の悪化が進んでいると考えている。 |
| 鉄鋼・金属<br>(金属製品製造業) | 昨年同様に緊急事態宣言が発令されている地域があるが、今月は消費の落ち込みはなく順調に推移し、売り上げ、収益ともに前年同月より80%の増加となった。                                   |

|                              |  |
|------------------------------|--|
| <p>一般機器<br/>(業務用機械器具製造業)</p> | <p>半導体製造関連の好調が続く。コロナ禍から復調する外資系(米国)企業からの受注が増加。</p>  |
| <p>一般機器<br/>(生産用機械器具製造業)</p> | <p>前年が新型コロナウイルス感染症の影響によりこれまでにない程の売り上げ減少となったため、今年5月の売り上げは50%程度の増加となった。同様の現象により収益も増加の結果となっているが、未だ経営は厳しい状況に変わりはなく今後も新型コロナウイルスの影響が続くことを懸念している。</p> |
| <p>電気機器<br/>(電気機械部品加工業)</p>  | <p>売り上げ、収益ともに前年同月比▲10%となった。官公庁関係の発注がまだ出ていないことが理由だと考えている。</p>   |
| <p>電気機器<br/>(電気機械部品加工業)</p>  | <p>半導体関連は好調。前年度は医療・電気関連分野の受注が好調であったが、今年は低調である。</p>   |

● 非製造業

|                         |  |
|-------------------------|--|
| <p>卸売<br/>(自動車中古部品)</p> | <p>自動車の需要は増えており部品等の価格上昇により売り上げ、収益ともに前年同月比50%の増加となった。反面、車両買取価格の競争が激しくなっていることから車両台数の確保が今後の課題となる。</p>   |
| <p>卸売<br/>(ジュエリー)</p>   | <p>新型コロナウイルス感染症拡大前ほどの売り上げの回復はないが、ECサイトの活用に取り組み、売り上げは前年と比べ20%の増加となった。6月からは組合でECサイトの運営を行い売り上げの回復を目指す。</p>  |
| <p>小売<br/>(青果)</p>      | <p>先月のニンジンやジャガイモに続き、今が旬のきゅうりやトマトが産地の天候不良により流通量が減少、これに加えて未だに外出自粛傾向にあることから消費が落ち込み売り上げが減少した。</p>  |
| <p>小売<br/>(食肉)</p>      | <p>観光地への人出が増加傾向にあるが、卸売りは前年同月の同水準か若干の改善というレベルで回復には至っていない。</p>   |
| <p>小売<br/>(水産物)</p>     | <p>5月は関東で東京以外には緊急事態宣言が発令されていないため、去年は休業していたホテル・旅館が営業していたこと、小中学校の給食が通常通り提供されていたことなどから、売り上げは30%程度の増加となった。しかし、売り上げが大きく落ち込んでいた例年に比べると、回復には至っていない。</p> |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p>小 売<br/>(自動車)</p>       | <p>トヨタ系列の全店舗でトヨタ全車種の取り扱いが開始されたことから、新車販売の価格競争が発生し、新車の利益率が低下した。一方、整備や中古自動車、新車の売り上げにより収益は大幅に増加、売り上げは前年同月と比べ56%の増加となった。</p>  |
| <p>小 売<br/>(電気機械器具小売業)</p> | <p>昨年度は新型コロナウイルス感染症予防対策の空気清浄機などの家電が販売実績を高めたが、5月はテレビやその周辺機器の需要が高まり、売り上げは前年同月比30%、収益はそれぞれ20%増加した。</p>  |
| <p>小 売<br/>(ガソリン)</p>      | <p>原油価格が上昇しているが、上昇分を販売価格に転嫁できず収益を圧迫している。</p>   |
| <p>商 店 街</p>               | <p>未だ新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、来客数及び売り上げは大幅に減少している。また、東京での緊急事態宣言の発出により、上京者が減少し、4月に上向きかけた組合の駐車場収入が減少した。</p>   |
| <p>宿 泊 業</p>               | <p>緊急事態宣言の再延長により、先行きが不透明で不安を抱えている。新型コロナウイルスの感染拡大前と比べるとかなりの減収となっている。</p>  |
| <p>一般廃棄物処理</p>             | <p>2017年に中国がプラスチックや金属、古紙などの廃棄物の輸入規制を公表してから、これまで有価物だったものが廃棄物となり処理費用が増加、収益が悪化していた。最近では県外業者が自治体等に対し既存契約者よりも高値での取引を持ち掛け、それに応じる自治体が出ているなど、取引力のある県外事業者の参入により、今後さらに組合員の経営環境が厳しくなることを懸念している。</p> |
| <p>警 備 業</p>               | <p>小規模ながらもイベント関連の受注があったほか、土木建築工事についても前年と比べ件数が増加したため売り上げは増加したが、利益率が低いことや、価格の値下げを求められ対応せざるを得ない状況があり、収益は好転しなかった。</p>  |
| <p>建 設 業<br/>(総 合)</p>     | <p>公共事業は前年同月と比べ件数は17%、請負金額は32%の減少となった。全体では件数は3%減少しているものの、請負金額では21%の増加となった。</p>   |
| <p>建 設 業<br/>(型 枠)</p>     | <p>経済の低迷により公共工事・民間工事ともに件数が減少していることから、受注競争が激化し契約単価が低減している。また、輸入資材が高騰し収益を圧迫していることも影響し、先行きに不安を抱えている組合員が多い。</p>  |

|                |  |
|----------------|--|
| 建設業<br>(鉄構)    | 鋼材価格の上昇が止まらない。受注時に設定した価格で鋼材を仕入れることが困難となっているが、ゼネコンは価格の上昇分の補填はしないため自社負担となり収益を圧迫している。                               |
| 設備工事<br>(電気工事) | 原材料等の不足の影響から新築工事の着工の遅れや電線等の材料価格が高騰し、業界の景況は若干の低下が伺える。   |
| 運輸<br>(トラック)   | 新型コロナウイルス感染症の長期化による経験が積めたことから、勤務体制や運搬にかかる管理が円滑に対応できるようになり、業務の効率化につながっている。<br>原油価格が夏に向けて例年高騰するため経営状況に影響があると考えている。 |

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

| 対前年・前月・当月 | 製 造 業  |        |        | 非 製 造 業 |        |        | 合 計    |        |        |
|-----------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
|           | 2020/5 | 2021/4 | 2021/5 | 2020/5  | 2021/4 | 2021/5 | 2020/5 | 2021/4 | 2021/5 |
| 売 上 高     | -85    | -10    | 0      | -50     | 23     | 10     | -64    | 10     | 6      |
| 収 益 状 況   | -75    | -20    | -15    | -50     | -3     | -3     | -60    | -10    | -8     |
| 景 況 感     | -75    | -30    | -25    | -47     | -17    | -3     | -58    | -22    | -12    |

※( (良数値÷対象数) ×100) - ((悪数値÷対象数) ×100) =D. I値

